

3. 光・フotonクス

10. スピントロニクス

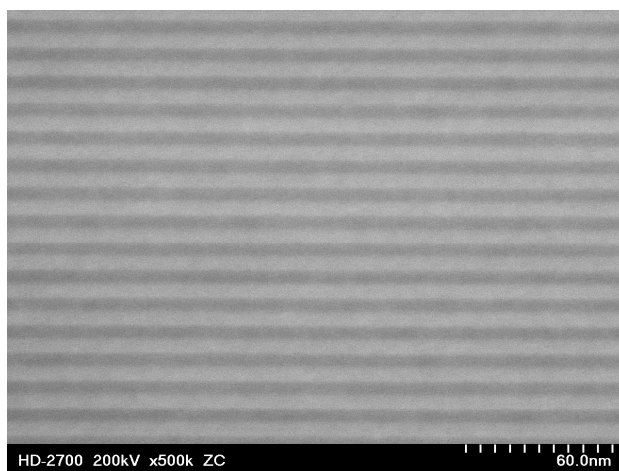
ミクロン/ナノオーダの物理分析、表面分析のツールを多数備えております。具体的な分析手法が決まっていない場合は、分析目的を教えていただければ、最適な分析をご提案させていただきます。

形状観察

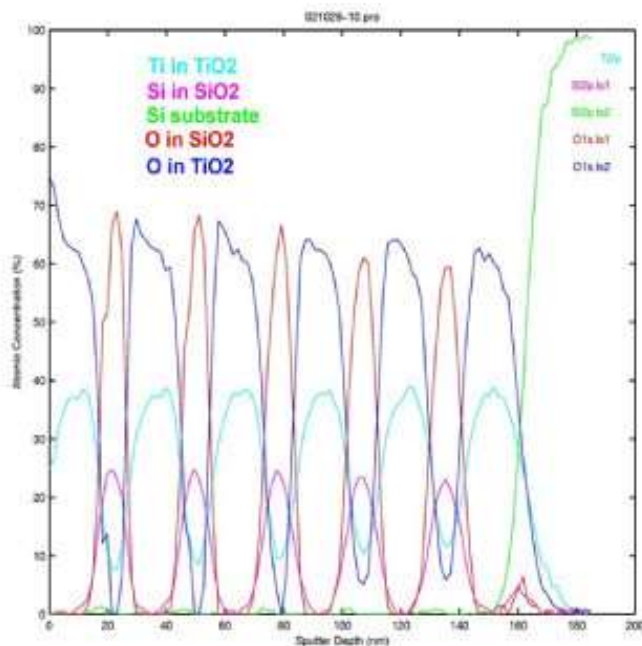
弊社では、TEMやSEM, AFMなどを使って、ナノオーダの形状観察が可能です。

右図は、LEDのMQW構造をSTEMで観察した画像(倍率50万倍)です。

もちろん、観察に必要な加工も承っております。



組成・深さ評価



組成の定性的/定量的な評価も可能です。

左図は、多層膜の深さ方向の組成をXPSにて評価した例です。

その他にも、SIMSやRBS/ERDAなどの装置を利用することができます。